

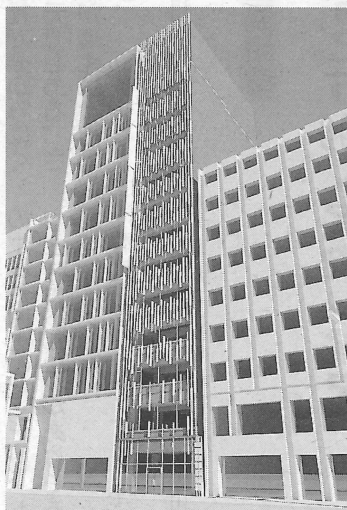
銀座に国内最高の木造12階建てビル

ヒューリック

平面混構造で12層を木造化

不動産大手のヒューリック（東京都、吉留学社長）は、CO₂削減、国内の木材需要拡大へ向け銀座8丁目に木造耐火による12階建ての商業ビルを建設する。具体的な建築計画では国内最多階の木造ビルになる。

同社は、地球環境への貢献、SDGs、ESG投資などグローバルな観点から、建築材料としてCO₂発生量の少ない木材使用を増やしていく。国内では



木造で最多層になるヒューリック銀座8丁目プロジェクト

木材利用の拡大に向

け、銀座8丁目の物件の木造化を計画。2020年2月に着工、21年秋ごろの完成を予定している。

建築面積251.98

平方メートル、延べ床面積2451.0平方メートル。地下1階、地上12階の商業ビルで1～12階がS

造との平面混構造となる。設計・施工は竹中工務店で、燃エントウツド

の2時間耐火（1～8階）と1時間耐火（9～12階）で使い分ける。

間口9×奥行き25メートルの規模で、中央通りに面した前面2スパンを木造、中央部の2スパンをS造、裏手側2スパンを木造にすることで、木造柱の断面が大

きくなりすぎないようにした。1階の燃エントウツド柱は800ミリ角、木材を使った制震ブレースも併用する。床にはCLTを使用し、現場打ちコンクリートで合成床を構成する。スプリンクラーを設置し、床のCLTは裏面を現しで使用できるように検討している。

外装デザインは隈研吾氏が担当し、外装にも木材を多用する。燃エントウツドを含めて極力杉を使用し、内装では多摩産材の利用も検討している。「コストは通常のS

造で建てた場合より2割ほど高くなるが、補助金の活用に加え、テナントの内装工事が低減できることや、銀座での木造12階建てビルという話題性などがテナント料に反映され

ることと期待している」（同社）。

同社は、他の銀座地区における商業ビルの計画での木質化や、高齢者施設での木造化も検討していく方針で、

継続的な木材利用を進めていく考えだ。

同社は都市木造の拡大に向け、15日にヒューリックホール（有楽町マリオン11階）で木造建築シンポジウムも開催する。

同社は、他の銀座地区における商業ビルの計画での木質化や、高齢者施設での木造化も検討していく方針で、



集成材

お問い合わせ下さい

TSC 株式会社 ティ・エス・シー

〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53

TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349

ホームページ <http://www.syusei-tsc.com>